

TP+ペムブロリズマブ(子宮頸癌)

対象疾患	子宮頸癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日												
							1	2	3	...	21								
RP.1		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	600分	○												
RP.2		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○												
RP.3		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○												
	○	キイトルーダ	200mg/body																
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○												
		ボラミン	5mg																
		ファモチジン	20mg																
		デキサート	9.9mg																
		パロノセトロン	0.75mg																
RP.5		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	180分	○												
	○	パクリタキセル	175mg/m ²	インラインフィルター使用、輸液ポンプ使用禁															
RP.6		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	60分	○												
		KCL	10mL																
		硫酸マグネシウム	8mL																
RP.7		20%マンニトール	300mL	点滴静注	側管	30分	○												
				インラインフィルター使用禁止															
RP.8		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	90分	○												
	○	シスプラチン	50mg/m ²																
RP.9		ソルデムI	200mL	点滴静注	側管	30分	○												
		フロセミド	10mg																
RP.10		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	120分		○	○										
RP.11		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	120分		○	○										

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

TC+ペムブロリズマブ(子宮頸癌)

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日														
							1	2	3	...	21										
RP.1		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	480分	○														
RP.2		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○														
					インラインフィルター使用																
RP.3		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○														
	○	キイトルーダ	200mg/body		インラインフィルター使用																
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	15分	○														
		ポラミン	5mg																		
		ファモチジン	20mg																		
		デキサート	9.9mg																		
		パロノセトロン	0.75mg																		
RP.5		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	180分	○														
	○	パクリタキセル	175mg/m ²		インラインフィルター使用、輸液ポンプ使用禁																
RP.6		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	60分	○														
	○	カルボプラチン	AUC:5																		
RP.7		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○														

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

- 制吐薬全体係あるか応じた望ま
- 各薬剤ダイアで示し

TP+Bev.+ペムブロリズマブ(子宮頸癌)

対象疾患	子宮頸癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日												
							1	2	3	...	21								
RP.1		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	600分	○												
RP.2		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○												
RP.3		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○												
	○	キイトルーダ	200mg/body																
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○												
		ボラミン	5mg																
		ファモチジン	20mg																
		デキサート	9.9mg																
RP.5		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	180分	○												
	○	パクリタキセル	175mg/m ²	インラインフィルター使用、輸液ポンプ使用禁															
RP.6		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	60分	○												
		KCL	10mL																
RP.7		硫酸マグネシウム	8mL																
		20%マンニトール	300mL	点滴静注	側管	30分	○												
RP.8				インラインフィルター使用禁止															
		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	90分	○												
RP.8	○	シスプラチン	50mg/m ²																
RP.9		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管		○												
	○	アパスチン	15mg/kg	投与時間: 初回90分, 2回目60分, 以後30分															
RP.10		ソルデム1	200mL	点滴静注	側管	30分	○												
		フロセミド	10mg																
RP.11		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	120分		○	○										
RP.12		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	120分		○	○										

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
抗がん薬投与前					
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

東近江総合医療センター 化学療法レジメン集

メタリドール錠等 (デキサメタゾン錠等)								
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

TC+Bev.+ペムブロリズマブ(子宮頸癌)

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	3	...	21									
RP.1		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	480分	○													
RP.2		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○													
						インラインフィルター使用														
RP.3		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○													
	○	キイトルーダ	200mg/body			インラインフィルター使用														
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	15分	○													
		ポラミン	5mg																	
		ファモチジン	20mg																	
		デキサート	9.9mg																	
		パロノセトロン	0.75mg																	
RP.5		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	180分	○													
	○	パクリタキセル	175mg/m ²			インラインフィルター使用、輸液ポンプ使用禁														
RP.6		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	60分	○													
	○	カルボプラチン	AUC:5																	
RP.7		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管		○													
	○	アバステン	15mg/kg			投与時間:初回90分,2回目60分,以後30分														
RP.8		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○													

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等)	 (3.3mg)				

- 制吐剤全体像あるか応じた望ま
- 各薬剤ダイヤで示し

(デキサメタゾン錠等)

□

—

—

—

PTX+CBDCA

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	3	...	21									
RP.1		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	360分	○													
				インラインフィルター使用																
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○													
		ポララミン	5mg																	
		ファモチジン	20mg																	
		デキサート	9.9mg																	
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分	○													
		パロノセトロン	0.75mg																	
RP.4		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	180分	○													
	○	パクリタキセル	180mg/m ²	輸液ポンプ使用禁																
RP.5		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	90分	○													
	○	カルボプラチン	AUC:5																	
RP.6		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○													

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

DC triweekly

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日											
							1	2	3	...	21							
RP.1		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	480分	○											
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○											
		ポラミン	5mg															
		ファモチジン	20mg															
		デキサート	3.3mg															
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分	○											
		パロノセトロン	0.75mg															
RP.4		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	120分	○											
	○	ドセタキセル	70mg/m ²	輸液ポンプ使用禁														
RP.5		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	120分	○											
	○	カルボプラチン	AUC:5															
RP.6		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○											

<参考>中等度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
抗がん薬投与前					
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

※オキサリプラチン、イホスファミド、イリノテカン、メトトレキサートなど使用時はアプレピタント(イメンドカプセル等)の使用を考慮する。

DP

対象疾患	子宮体癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	3	...	21									
RP.1		生理食塩液	1500mL	点滴静注	メイン	600分	○													
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○													
		ポラミン	5mg																	
		ファモチジン	20mg																	
		パロノセトロン	0.75mg																	
		デキサート	9.9mg																	
RP.3		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	120分	○													
	○	ドセタキセル	70mg/m ²	輸液ポンプ使用禁																
RP.4		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	120分	○													
	○	シスプラチン	60mg/m ²																	
RP.5		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○													

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

PTX+CBDCA(子宮体癌)

対象疾患	子宮体癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	3	...	21									
RP.1		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	480分	○													
				インラインフィルター使用																
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○													
		ポラミン	5mg																	
		ファモチジン	20mg																	
		デキサート	9.9mg																	
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分	○													
		パロノセトロン	0.75mg																	
RP.4		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	180分	○													
	○	パクリタキセル	180mg/m ²	輸液ポンプ使用禁																
RP.5		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	120分	○													
	○	カルボプラチン	AUC:6																	

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

dose dense TC(卵巣癌)

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日									
							1	2	...	3	...	15	...	21		
RP.1		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	300分	○									
				インラインフィルター使用												
RP.2		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分	○									
		ポララミン	5mg													
		ファモチジン	20mg													
		デキサート	9.9mg													
RP.3		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○									
		パロノセトロン	0.75mg													
RP.4		5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	側管	60分	○									
	○	パクリタキセル	80mg/m ²													
RP.5		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	60分	○									
	○	カルボプラチン	AUC:6													
RP.6		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	300分				○		○				
				インラインフィルター使用												
RP.7		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分				○		○				
		ポララミン	5mg													
		ファモチジン	20mg													
		デキサート	9.9mg													
RP.8		グラニセトロン	3mg	点滴静注	側管	30分				○		○				
RP.9		5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	側管	60分				○		○				
	○	パクリタキセル	80mg/m ²													

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)				

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

dose dense TC+Bev.(卵巣癌)

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日										
							1	2	...	3	...	15	...	21			
RP.1		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	300分	○				○		○				
				インラインフィルター使用													
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管		○										
	○	アバステン	15mg/kg	投与時間:初回90分,2回目60分,以後30分													
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分	○				○		○				
		ポラミン	5mg														
		ファモチジン	20mg														
		デキサート	9.9mg														
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○				○		○				
		パロノセトロン	0.75mg														
RP.5		5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	側管	60分	○				○		○				
	○	パクリタキセル	80mg/m ²	輸液ポンプ使用禁													
RP.6		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	60分	○										
	○	カルボプラチン	AUC:6														
RP.7		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	300分											
				インラインフィルター使用													
RP.8		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分					○		○				
		ポラミン	5mg														
		ファモチジン	20mg														
		デキサート	9.9mg														
RP.9		グラニセトロン	3mg	点滴静注	側管	30分					○		○				
RP.10		5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	側管	60分					○		○				
	○	パクリタキセル	80mg/m ²	輸液ポンプ使用禁													

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

DG療法（子宮平滑筋肉腫）

対象疾患	子宮平滑筋肉腫
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	軽度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日																		
							1	2	...	8	...	21													
RP.1		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○																		
		デキサート	3.3mg																						
RP.2		5%ブドウ糖液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○																		
	○	ゲムシタビン	800mg/m ²																						
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○																		
RP.4		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	360分							○												
RP.5		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分							○												
		グラニセトロン	0.3mg																						
		ファモチジン	20mg																						
		ボラミン	5mg																						
		デキサート	6.6mg																						
RP.6		5%ブドウ糖液	100mL	点滴静注	側管	30分							○												
	○	ゲムシタビン	800mg/m ²																						
RP.7		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	120分							○												
	○	ドセタキセル	70mg/m ²				輸液ポンプ使用禁																		

<参考>軽度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
抗がん薬投与前					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等)	 (6.6mg)				

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

PTX + CBDCA + Bev(子宮頸癌)

対象疾患	子宮頸癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	3	...	21									
RP.1		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	300分	○													
				インラインフィルター使用																
RP.2		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分	○													
		ポラミン	5mg																	
		ファモチジン	20mg																	
		デキサート	9.9mg																	
RP.3		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○													
		パロノセトロン	0.75mg																	
RP.4		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	180分	○													
	○	パクリタキセル	175mg/m ²	輸液ポンプ使用禁																
RP.5		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	60分	○													
	○	カルボプラチン	AUC:5																	
RP.6		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管		○													
	○	アバスチン	15mg/kg	投与時間: 初回90分, 2回目60分, 以後30分																
RP.7		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○													

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

Bevacizumab + DOXIL 併用療法

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	4週1コース

催吐リスク	軽度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	...	15	...	28								
RP.1		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	メイン	300分	○													
				インラインフィルターは使用不可 点滴終了後、抜針可																
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○													
		ファモチジン	20mg																	
RP.3		5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	側管	90分	○													
	○	ドキシル	40mg/m ²																	
RP.4		5%ブドウ糖液	100mL	点滴静注	側管	15分	○													
RP.5		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管		○													
	○	アバステン	10mg/kg	投与時間: 初回90分, 2回目60分, 以後30分																
RP.6		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○													
RP.7		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開					○									
RP.8		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン						○									
	○	アバステン	10mg/kg	投与時間: 初回90分, 2回目60分, 以後30分																
RP.9		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開					○									

<参考>軽度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
デキサメタゾン (デカドロン注射液等)	 (6.6mg)				

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

TP + Bevacizumab (子宮頸癌)

対象疾患	子宮頸癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日																
							1	2	3	...	21												
RP.1		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	15分	○																
		ボラミン	5mg	インラインフィルター使用																			
		ファモチジン	20mg																				
		デキサート	9.9mg																				
RP.2		生理食塩液	1000mL	点滴静注	側管	180分	○																
				Rp01の側管から投与																			
RP.3		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○																
		パロノセトロン	0.75mg																				
RP.4		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	メイン	180分	○																
	○	パクリタキセル	175mg/m ²	輸液ポンプ使用禁																			
RP.5		20%マンニトール	300mL	点滴静注	メイン	40分	○																
RP.6		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	90分	○																
	○	シスプラチン	50mg/m ²																				
RP.7		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○																
RP.8		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン		○																
	○	アバステン	15mg/kg	投与時間: 初回90分, 2回目60分, 以後30分																			
RP.9		ソルデム1	200mL	点滴静注	メイン	30分	○																
		フロセミド	10mg																				
RP.10		ソルアセトF	500mL	点滴静注	メイン	90分		○	○														
RP.11		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	90分		○	○														

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

GEM + CBDCA + Bev. Triweekly

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	...	8	...	21								
RP.1		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	15分	○													
		パロノセトロン	0.75mg																	
		デキサート	3.3mg																	
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	メイン		○													
	○	アバステン	15mg/kg				投与時間:初回90分,2回目60分,以後30分													
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○													
RP.4		5%ブドウ糖液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○													
	○	ゲムシタビン	1000mg/m ²																	
RP.5		生理食塩液	250mL	点滴静注	メイン	60分	○													
	○	カルボプラチン	AUC:4																	
RP.6		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○													
RP.7		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	15分					○									
		デキサート	6.6mg																	
RP.8		5%ブドウ糖液	100mL	点滴静注	メイン	30分					○									
	○	ゲムシタビン	1000mg/m ²																	
RP.9		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開					○									

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

GEM + CBDCA

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日													
							1	2	...	8	...	21								
RP.1		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	30分	○													
		パロノセトロン	0.75mg																	
		デキサート	3.3mg																	
RP.2		5%ブドウ糖液	100mL	点滴静注	メイン	30分	○													
	○	ゲムシタビン	1000mg/m ²																	
RP.3		生理食塩液	250mL	点滴静注	メイン	60分	○													
	○	カルボプラチン	AUC:4																	
RP.4		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○													
RP.5		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	30分					○									
		デキサート	6.6mg																	
RP.6		5%ブドウ糖液	100mL	点滴静注	メイン	30分					○									
	○	ゲムシタビン	1000mg/m ²																	
RP.7		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開					○									

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

TC+Bev.(卵巣癌)

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日											
							1	2	3	...	21							
RP.1		生理食塩液	500mL	点滴静注	メイン	420分	○											
				インラインフィルター使用														
RP.2		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管		○											
	○	アバスタチン	15mg/kg	投与時間:初回90分,2回目60分,以後30分														
RP.3		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	15分	○											
		ボラミン	5mg															
		ファモチジン	20mg															
		デキサート	9.9mg															
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○											
		パロノセトロン	0.75mg															
RP.5		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	側管	180分	○											
	○	パクリタキセル	175mg/m ²	輸液ポンプ使用禁														
RP.6		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	60分	○											
	○	カルボプラチン	AUC:6															

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

AP療法

対象疾患	子宮体癌
投与間隔	3週1コース

催吐リスク	高度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日												
							1	2	3	...	21								
RP.1		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	240分	○												
RP.2		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	120分	○												
		KCL	20mL	★硫酸Mg補正液 8mLのみ使用(1A = 20mL)															
RP.3		硫酸マグネシウム	8mL	点滴静注	側管	30分	○												
		生理食塩液	100mL																
RP.4		パロノセトロン	0.75mg																
		デキサート	9.9mg																
RP.4		生理食塩液	100mL	点滴静注	側管	30分	○												
	○	ドキシソルピシン	60mg/m ²																
RP.5		生理食塩液	250mL	点滴静注	側管	60分	○												
	○	シスプラチン	50mg/m ²																
RP.6		生理食塩液	50mL	点滴静注	側管	全開	○												
RP.7		生理食塩液	250mL	点滴静注	メイン	180分	○												
				Rp1終了後に更新															
RP.8		20%マンニトール	200mL	点滴静注	側管	30分	○												
				★200mLのみ使用(1V = 300mL)															
RP.9		生理食塩液	500mL	点滴静注	側管	120分	○												
		KCL	20mL																
RP.10		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	240分		○	○										
RP.11		生理食塩液	1000mL	点滴静注	メイン	240分		○	○										

<参考>高度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射液等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (9.9mg)	 8	 8	 8	 8

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

wPTX + Bev. 療法

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	4週1コース

催吐リスク	軽度(催吐性)リスク
-------	------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日											
							1	...	8	...	15	...	22	...	28			
RP.1		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	30分	○			○			○					
		ボラミン	5mg	インラインフィルター使用														
		ファモチジン	20mg															
		デキサート	6.6mg															
RP.2		生理食塩液	100mL				点滴静注	メイン		○			○					
	○	アバチン	10mg/kg	投与時間: 初回90分, 2回目60分, 以後30分														
RP.3		生理食塩液	50mL				点滴静注	メイン	30分				○				○	
	RP.4		5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	メイン	60分	○		○		○		○				
○		パクリタキセル	80mg/m ²	輸液ポンプ使用禁														
RP.5		生理食塩液	50mL				点滴静注	メイン	全開	○		○		○		○		

<参考>軽度催吐性リスクに対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
	抗がん薬投与前					
デキサメタゾン (デカドロン注射液)	 (6.6mg)					

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。

PLD+CBDCA

対象疾患	卵巣癌
投与間隔	4週1コース

催吐リスク	中等度(催吐性)リスク
-------	-------------

○レジメン内容(※制吐薬(下記参照)等の内服薬が処方される事があります。)

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日															
							1	2	3	...	28											
RP.1		5%ブドウ糖液	100mL	点滴静注	メイン	15分	○															
		パロノセトロン	0.75mg																			
		デキサート	3.3mg																			
RP.2		5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	メイン	90分	○															
	○	ドキシル	30mg/m ²																			
RP.3		5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	メイン	60分	○															
	○	カルボプラチン	AUC:5																			
RP.4		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	○															

<参考>中等度催吐性リスク(カルボプラチン使用)に対応する標準的制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
抗がん薬投与前					
アプレピタント (イメドカプセル等)	125mg	80mg	80mg		
5-HT3受容体拮抗薬 (グラニセトロン塩酸塩注射等)					
デキサメタゾン (デカドロン注射液等) (デキサメタゾン錠等)	 (3.3mg)	 4	 4	 4	

- 制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。
- 各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値で示した。